

B-13* 札幌市における婦人服の色彩統計

北海道学芸大学 練子 花子

本研究は、自然環境並に社会条件が、本州に比べて大いに異なる北海道の代表都市、札幌市における色彩の統計を行うことを目的とし、昭和 31 年 4 月から継続調査中のものである。

方法としては、統計用色票（日本色彩研究所発行）による比較法を用い、最も交通量の多い場所を選定して、其所を通行する婦人の服装を、季節別、形態別に統計を行い、一般に好まれる色、季節に左右される色、或は調査地の環境に支配される色等、各分野における傾向の考察を行った。

結果として、現れた色の筆頭は他地方と大差ないが、夏期の短いこと、煤煙環境における色彩の方向・伝統をもたぬ土地柄による選択の方法等に問題点がうかがわれる。